

賀 茂 地 区

1 研修会 年間4回実施（他に各支部別4～6回実施）

【テーマ】 感じようこころと体 めざそう健やかな生活

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4月 4支部の研修計画立案 東賀 チーム学校に向けた養護教諭の専門性を生かした取り組み 下田 子どもたちの安全・安心な生活をめざした学校保健活動 南伊豆 保健室から発信する安心・安全な学校づくり 西豆 よりよい保健室経営をめざして	賀茂教育研究会	支部ごとテーマを設定
2	6月 代表者報告、執務上の問題点について	賀茂地区学校保健会	
3	11月 講習会「婦人科系疾患への対応」*1	賀茂地区学校保健会	*1伊豆今井浜病院
4	3月 4支部の研修報告、活動の反省、代表者会報告	賀茂教育研究会	医師 吉田麻美氏

2 昨年度の研修の紹介

安良里診療所 大石延正氏を講師に迎え、「学校で気をつけたい耳鼻科疾患・耳鼻科外傷への対応について」の講話を聴き、研修を行った。賀茂地区4支部中3支部で未実施の「耳鼻科検診」についても知ることができた。具体的な事例や画像等もあって大変参考になった。

3 地区での問題点・課題

賀茂地区は4支部に分かれ研修を進めているが、広範囲のため地区としての研修を深めることが難しい面もある。少ない研修機会の中で、情報交換を積極的に行い、各支部の取組や特性を生かしながら、賀茂地区全体で質の高い研修を目指していきたい。

田 方 地 区

1 研修会 年間8回実施

【テーマ】 自分で判断し、人と関わりながら適切に行動できる子をめざして

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	5月 年間計画立案	田方地区教育研究会	
2	6月 学校保健会総会・講演会*	田方地区教育研究会	*常葉大学短期大学部
3	7月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	保育科特任教授 西田泰子氏
4	10月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	
5	11月 グループ研修	田方地区教育研究会	
6	12月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	
7	1月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	
8	3月 研修のまとめ、活動反省	田方地区教育研究会	

2 昨年度の研修の紹介

研修テーマにむけて、学校関係機関を「つなぐ・つなげる」ことの実践の積み重ねを念頭に置き、研修を進めた。保健指導を推進する上で、縦や横の連携を意識した実践報告、コロナ禍の感染症対策等の情報交換やタブレットを活用したICT研修等を実施した。

3 地区での問題点・課題

日常執務の情報交換・グループ研修・講演会などを取り入れ、現代の課題に対応する保健室経営の質的向上に努めた研修を進めている。数年後、学校編成による学校数の減少があるため、研修推進組織の見直し等の必要性を感じる。

東豆地区

1 研修会 年間3回実施（各市ごとの研修は更に月1回程度開催）

【テーマ】 熱海 しなやかでへこたれない心の力を育てよう

伊東 困難な状況の中でも立ち直る力を持ち、しなやかに適応する子の育成をめざして

No.	研修内容	主催者	備考（講師・運営）
1	6月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修	東豆学校保健研究会	（伊東市）子育て支援課 主幹 岡村めぐみ氏
2	11月 代表者会報告・講演会 （仮）「学校における児童虐待の対応と予防 ～養護教諭の役割～」	東豆学校保健研究会	
3	3月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修	東豆学校保健研究会	

2 昨年度の研修の紹介

フィジカルアセスメントのDVDをもとに、腹痛と痙攣の事例検討会を行った。3つの視点から対応を振り返り、自己の経験を話し合うことで、問題点を共有し合うことができた。

3 地区での問題点・課題

2地区に分かれ、それぞれのテーマで研修を行っている。一堂に会した研修を行う回数は少ないが、メール等を活用して情報交換を行い、地区全体の組織力や資質向上を図りたい。

三島地区

1 研修会 年間8回実施

【テーマ】 ICTを活用した保健教育と執務の効率化

No.	研修内容	主催者	備考（講師・運営）
1	4月 研修計画、各校のICT活用の実態について	三島市教育委員会	*三島市教育委員会 特任指導主事 鈴木元氏
2	6月 グループ研修	三島市教育委員会	
3	7月 啓発紙「生きる」検討	三島市学校保健研修会	
4	講話・演習「執務の効率化につながるExcel活用について」*、グループ研修	三島市教育委員会	
5	9月 グループ研修	三島市教育委員会	
6	10月 「執務の効率化をめざして～ICTの活用など～」	三島市学校保健研修会	
7	1月 グループ研修	三島市教育委員会	
8	2月 グループ研修発表、まとめ	三島市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

Forms・MetaMoji・iMovie・PowerPoint等を活用して「けがの予防」「健康診断」「心」「生活習慣」のグループごとに保健教育を行った。使用したデータを共有し、他校でも使えるようにした。

啓発紙「生きる」の発行・掲示（テーマ「子供とICT機器」10月号体の健康編、2月号心の健康編）をした。

3 地区での問題点・課題

研修回数に限られているため、校務支援ソフトを有効活用して日々情報交換をしながら研修を深めている。養護教諭21人が共に専門性を高めていけるよう組織力の向上を図っていきたい。

駿 東 地 区

1 研修会 年間6回実施

【テーマ】 4つの支部に分かれて、それぞれの研修も進めている。

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回学校保健研修会 研修計画、中体連打合せ、執務研修	駿東地区教育協会	
2	6月 学校保健代議員会・講演会 * ¹ 「歯科検診と全身の健康について」	駿東地区学校保健会	* ¹ 学校歯科医 柏木 秀俊氏
3	7月 第2回学校保健研修会	駿東地区教育協会	
4	11月 駿東地区学校保健研究大会 * ²	駿東地区教育協会	* ² 講演会講師未定
5	11月 第3回学校保健研修会 * ³ (養護教諭・保健主事合同研修会) 「養護教諭のICT活用について(仮)」	駿東地区教育協会	* ³ 京都女子大学 教授 大川 尚子氏
6	3月 第4回学校保健研修会 研修報告	駿東地区学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

年4回の学校保健研修会のうち、前半2回は対面研修、後半2回がオンライン研修となった。11月に立命館大学総合心理学部教授 川野健治氏より「学校のできる自殺予防」、桐生大学医療保健学部講師 岩田昇氏より「思春期における自殺予防について」と自殺予防について深く学ぶ機会を得た。

3 地区での問題点・課題

学校数が多く、コロナ禍で集まりにくい状況ではあるが、出来るだけ情報を共有したり、オンライン研修を上手に組み合わせたりすることで、充実感が得られる研修にしていきたい。

沼 津 地 区

1 研修会 年間13回実施

【テーマ】 「小中一貫教育をふまえた保健教育」

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	4月 研修計画作成	沼津教育振興会	
2・3	6月 校区研修・二部合同研修会	沼津市学校保健会	
4	7月 テーマ別グループ研修	沼津教育振興会	
5	8月 夏季講演会 * ¹ 「ICTを活用した保健室経営」	沼津市学校保健会	* ¹ 教職員研修センター 鈴木 隆雄 氏
6	8月 全体研修 1学期の反省	沼津市学校保健会	
7	7・8月 テーマ別グループ研修	沼津教育振興会	
8	10月 二部合同研修会 * ²	沼津市学校保健会	* ² 「Rainbow DooR」
9	11月 二部合同研修会	沼津市学校保健会	静岡代表 後藤 理玖 氏
10	12月 全体研修 日常執務の反省	沼津市学校保健会	
11	1月 テーマ別グループ別研修	沼津教育振興会	
12	2月 研修報告会	沼津教育振興会	
13	3月 1年間の反省	沼津市学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

令和元年度より「小中一貫教育をふまえた保健教育」をテーマに、4年計画で研修を進めている。沼津市全体で、義務教育9年間を通して子どもを育てるという視点を大切に、「性教育」「心の教育」「危機管理」「教科保健」「ほけんだより」の5グループで研修を深めた。

3 地区での問題点・課題

研修の機会を有効に使い、養護教諭として個々の資質と力量の向上に努め、高め合うと共に、会員が相互に連携を図り共通理解を深め、若手会員の育成や地区の組織力向上を目指していきたい。

富士地区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 生涯にわたり心豊かで健やかに生きる子

No.	研修内容	主催者	備考(講師・運営)
1	5月 全体研修(年間計画)	富士市教育研究推進会	*1 Teamsにて静岡大学 教授 鎌塚優子氏
2	6月 班別研修	富士市教育研究推進会	
3	7月 救急法普及員研修	富士市学校保健会	
4	7月 講演会 *1	富士市教育研究推進会	
5	8月 学校保健大会打合せ		
6	11月 一斉授業研究会 (健康教育部授業研究)	富士市教育研究推進会 富士市教育研究推進会	
7	1月 講演会 *2	富士市学校保健会	*2 富士市医師会 耳鼻科医 (保健主事との合同研修)
8	2月 全体研修(研修のまとめ)	富士市教育研究推進会	
9	3月 全体研修(次年度への指針)	富士市学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

「つなぐ」をキーワードに小中連携した校区研修を実施した。それにより学校全体への働きかけにつなげることができた。感染症対策をするだけでなく、感染状況によって研修会場を使い分けるなど柔軟な対応をして、研修を実施することができた。

3 地区での問題点・課題

日常業務が多忙を極める中、養護教諭同士の情報交換の必要性は日々増している。今後はオンライン等、情報交換及び研修がスムーズにできるようなシステムを構築していきたい。

富士宮地区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 しなやかでたくましい心と体を育む健康教育

～組織横断的な取組を生かし、自らを健康に導く子供の育成～

No.	研修内容	主催者	備考(講師・運営)
1	4月 学校医及び養護教諭合同研修会	富士宮市教育委員会	*1 班別研修
2	6月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	
3	7月 第1回健康教育研修会 *1	富士宮市教育委員会	
4	8月 第2回健康教育研修会 *1	富士宮市教育委員会	
5	10月 第3回健康教育研修会 *1	富士宮市教育委員会	
6	11月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	
7	12月 学校医及び養護教諭合同研修会 第4回健康教育研修会 *1	富士宮市教育委員会	*2 研修のまとめ
8	1月 第5回健康教育研修会 *1	富士宮市教育委員会	
9	2月 学校歯科医及び養護教諭合同研修会 第6回健康教育研修会 *2	富士宮市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

中学校区を基本として3年間行った班別研修のまとめの年度であった。学校運営を意識した学校保健活動の実践に向けて、各班での取組を地区全体で共有しながら研修を深めた。また、感染症対策についても情報交換し、対応の共通化を図りながら取り組んだ。

3 地区での問題点・課題

今年度から新たなテーマで研修に取り組んでいく。大きく変化した生活の影響がいつどのような形で子供たちの体や心に現れてくるのかを養護教諭の視点から注視し、学校組織で情報共有しながら研修を進めていきたい。

静岡地区

1 市全大会・年間3回実施（他に支部ごと8～10回実施）

【テーマ】 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

No.	研修内容	主催者	備考（講師・運営）
1	8月 第1回市養護教諭研修会 「児童相談所から養護教諭へ伝えたいこと」*1 「知ってほしい生理のこと セクシャリティ教育」*2	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	*1静岡市児童相談所 相談係長 戸田晋太郎氏 *2柴山クリニック
2	10月 第2回市養護教諭研修会 「育成指標について」*3	静岡市教育委員会	産婦人科医 近藤奈穂子氏
3	3月 第3回市養護教諭研修会 講義と支部研修報告	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	*3神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部准教授 高橋佐和子氏
支部	支部ごとに、支部の研修テーマに沿った研修を計画的に行う。	静岡市校長会 静岡市養護教諭研究会	支部ごとに企画、運営し、実践集録にまとめる。

2 昨年度の研修の紹介

浜松医科大学附属病院精神科神経科医師 竹林淳和氏より「思春期の摂食障害」、静岡県立こども病院感染対策室医師 庄司貴代氏より「学校の感染対策の適正化」、静岡大学教育学部教授 小林朋子氏より「コロナ禍での子どもの心を支える」の講話を聴き、研修を行った。

3 地区での問題点・課題

今年度から静岡型小中一貫教育が全市一に齊スタートし、多様なICT活用が求められている。子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るため、「チーム学校」における養護教諭の役割について考え、健康教育推進の原動力となる養護教諭を目指し研修を深めていきたい。

志太地区

1 研修会 年間3回実施

【テーマ】 自分で判断し、人と関わりながら適切に行動できる子をめざして

No.	研修内容	主催者	備考（講師・運営）
1	6月 志太地区養護教諭研究会総会 志太地区学校保健会研修会① ・講演「コロナ禍における子供のからだ と心～学校の役割を考える～」	志太地区養護教諭研究会 志太地区学校保健会	講師：日体大体育学部健康学科 教授 野井真吾氏
2	8月 志太地区教育研究集会 発表テーマ「養護教諭の専門性を活かした 授業実践と課題」について	志太地区教育協議会 (学校保健部)	藤枝地区の研究発表
3	12月 志太地区養護教諭研究会研修 志太地区学校保健会研修会② ・講演「子供に優しい学校づくり ～LGBTQの子供の孤立を防ぐために～」	志太地区養護教諭研究会・志太地区学校 保健会	講師：にじーず代表 遠藤まめた氏

2 昨年度の研修の紹介

志太地区学校保健会と合同で2回の研修会を開催した。静教研と県保健大会の開催地区になり、6月の研修会は両大会の研究発表リハーサル・事前発表会を実施、8月と11月にオンデマンド・オンラインで研究発表を実施した。12月には「激変する子供のメディア環境」をテーマに清川輝元氏による講演会を開催し、子供の生活環境を整えるために必要なことについて学んだ。

3 地区での問題点・課題

志太地区は各市で研修を行っているため、3市合同での研修回数は限られている。その中で、情報交換や講演会を計画し、養護教諭の資質向上を図り、地区全体での研修を深めていきたい。

榛 原 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 しなやかに、人とかわりながら前向きに生きていこうとする子～保健室からのアプローチ～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会 * ¹ 研修計画、グループ研修 執務研修、講話 「安心・自信・勇気 (レジリエンス) を育む」	榛原地区養護教諭研究会	* ¹ 言葉と対話のアドバイザー 静岡新聞NIEコーディネーター 矢澤和宏氏
2	10月 学校保健部研修会	榛原地区教育協会学校保健部	* ² 静岡大学教育学部 教授 小林朋子氏
3	11月 第2回全体研修会 * ² 講話、グループ研修、執務研修 「コロナ禍における子供の心への影響」	榛原地区養護教諭研究会	
4	2月 第3回全体研修会 研修報告、グループ研修 執務研修	榛原地区養護教諭研究会	

2 昨年度の研修の紹介

アドラーカウンセラー 内田育子氏より「勇気づけて育てる～アドラー心理学と脳の働きをもとに～」をテーマに講話をしていただいた。失敗から学ぶことの大切さを実感するとともに、子供が自分自身を勇気づけられるような支援方法を学ぶ貴重な機会となった。

3 地区での問題点・課題

今後、学校再編により学校数が減少することや、若手養護教諭の割合が更に増加していくことを視野に入れ、計画的に組織や研修内容を見直していく必要がある。積極的に情報交換を行い、連携しながら、養護教諭としての資質向上に努めていきたい。

小 笠 地 区

1 研修会 年間3回実施

【テーマ】 (1) 健康教育推進者としての力量を高め、専門性、独自性を活かした資質の向上に努める。
(2) 小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化を図る。

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会 研修計画・顧問校長講話 * ¹	小笠地区養護教諭研究会	* ¹ 小笠地区養護教諭研究会 顧問校長 深澤大氏
2	8月 第2回全体研修会 * ² 「育成と連携」 ～養護教諭の資質向上を目指す～	小笠地区養護教諭研究会	* ² 掛川市教育委員会 学校教育課 指導係GIGA班
3	11月 学校保健研究部一斉研究報告会 「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成」 ～発達段階に応じた切れ目のない健康教育～	小笠教育研究協会 学校保健研究部	清水啓行氏

2 昨年度の研修の紹介

6月の全体研修会は中止したが、8月はオンライン研修で開催し、浜松にじいろ安場 永田玲氏より「多様な性を知ろう」と題した講話をしていただいた。また、班研修（小笠地区は50校が5班に分かれている）を実施して、中学校区別の健康教育実践についての研修を深めた。

3 地区での問題点・課題

若手会員の増加や学校ICT化に伴い、地区養護教諭研究会の組織や活動内容の見直しが必要である。限られた研修の中で会員が相互に連携し情報共有しながら、養護教諭としての資質向上に努めていきたい。

磐 周 地 区

1 研修会 年間4回実施（他に市町ごとの研修会4～5回実施）

【テーマ】 「生涯を通して、自ら生きる力を育てる健康教育」

～心身ともに健康な生活を送るためのヘルスリテラシーの育成～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回養護教諭研修会 事業計画・中体連救護の伝達	磐周学校保健会	* ¹ 静岡大学教育学部 学校教育教員養成課程 養護教育専攻 教授 鎌塚 優子氏
2	7月 学校保健部研修会 校区研修発表（代表校区）	磐周教育研究会	
3	11月 第2回養護教諭研修会 講話「ヘルスリテラシーの健康教育への活用方法について」* ¹	磐周学校保健会	
4	3月 第3回養護教諭研修会（実技研修）	磐周学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

中学校区で研修を進め、実践内容を研修収録「あゆみ」にまとめた。11月には磐田市立総合病院感染症専門医 安間章裕氏から「コロナウイルス感染症の予防対策と最新情報」についての講話を聴き、具体的な予防対策について学んだ。また3月には静岡大学教育学部教授 鎌塚優子氏より「ヘルスリテラシー教育とは」の講話を聴き、令和4年度から新たに組み込む研修テーマの基礎を学んだ。

3 地区での問題点・課題

限られた研修機会の中で、磐周全体のつながりを意識し、情報共有できるような取組が大切であると考えている。校区研修を基本として研修を行ってきたが、同一テーマの他校区とも交流しながら、研修を深めていけるように工夫していきたい。

湖 西 地 区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 これからの学校保健の在り方

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 第1回養護教諭研修会	湖西市教育会	* ¹ 市立湖西病院 感染管理認定看護師 池田裕幸氏
2	湖西市学校保健会総会・講演会 * ¹ 「新型コロナウイルス感染症の実際と感染対策」	湖西市学校保健会	
3	7月 第2回養護教諭研修会	湖西市教育会	* ² 西部健康福祉センター 保健師 宮地俊行氏
4	第3回養護教諭研修会	湖西市教育会	
5	第4回養護教諭研修会	湖西市教育会	
6	8月 保健主事・養護教諭合同研修会 * ² 「ゲートキーパー講習会」	湖西市教育会	
7	11月 第5回養護教諭研修会	湖西市教育会	
8	1月 学校保健研修会	湖西市学校保健会	
9	2月 養護教諭研修会	湖西市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の機会は減ったが、執務のマニュアルの改訂をすることができた。また、市立湖西病院心理士 小林秀次氏の話聴き、発達障害をもつ児童生徒や保護者への支援等について理解を深めることができた。

3 地区での問題点・課題

子供の健康問題は多様化・複雑化しているため、中学校区の健康課題をしっかりと把握し、研修テーマや研修の方向性について、再検討していきたい。また、ICTの活用についても研修を深めていきたい。

浜 松 地 区

1 研修会 年間11回実施

- 【テーマ】 (1) すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成
 (2) 養護教諭の資質向上を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	4月 教育研究協議会	浜松市教育研究会	
2	5月 第1回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
3	6月 第1回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
4	6月 養護教諭研修会 * ¹ 講義:「養護教諭に必要なフィジカルアセスメントの考え方を身に付ける」	浜松市教育委員会	* ¹ 岡山大学 副学長 三村 由香里 氏
5	7月 養護教諭部研修会(分科会)	浜松市学校保健会	
6	8月 第2回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
7	8月 第2回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
8	10月 養護教諭研修会 * ² 講義:「健康相談から組み立てる保健教育～学校における性の教育を通して～」	浜松市教育委員会	* ² 静岡大学教育学部 教授 鎌塚 優子 氏
9	10月 第3回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
10	11月 第3回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
11	3月 養護教諭研修会 * ³ 講義:「伝達講習・演習 健康指導者養成研修 他」	浜松市教育委員会	* ³ 健康安全課指導主事

2 昨年度の研修の紹介

浜松市学校保健会養護教諭部研修会では、浜松医療センター小児科 宮本健氏による「神経発達症の基礎知識・神経発達症児と家族の支援について」の講話を動画配信にて視聴することができた。ペアレントトレーニング等を知ることによって神経発達症児の行動への適切な対応や学校・家庭・医療機関の連携の大切さを学ぶことができた。

3 地区での問題点・課題

これからの浜松市養護教諭研究会の組織の在り方や若手育成等が課題である。また、研究推進委員会を通して、よりよい研修方法の検討を重ね、学校の中で専門性を持つ養護教諭として、資質能力の向上を目指し、研修の充実に努めている。

